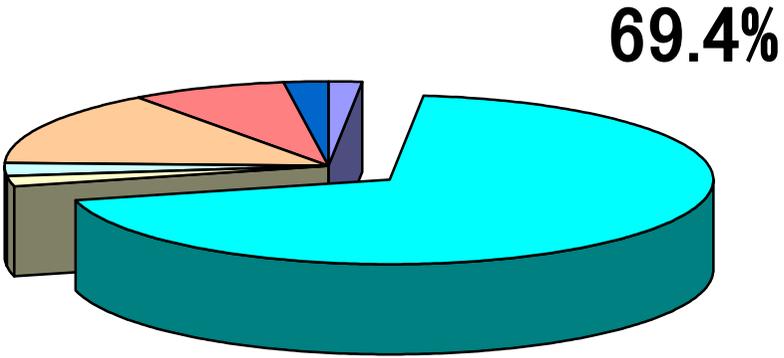


| | |
|-----|------------------------------------|
| 第2章 | 健やかに安心して暮らせるまちづくり (保健・医療・福祉の充実) |
|-----|------------------------------------|



※ 平成25年度一般会計と特別会計の予算額中、第6次総合計画に位置付けられた基本施策の合計額(1,187億1千5百万円)における本施策の割合と、その円グラフ(基本施策の合計額には、人件費や一部の維持管理経費等は含みません。)

健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実）

824億1千7百万円（前年比 +41億5千2百万円 5.3% 増）

地域医療体制の充実（市民病院の新棟の建設費など）に係る事業費（+15億3千8百万円）や介護保険の保険給付費（+8億8百万円）の増などにより、前年比 5.3%の増 となりました。

(1) 保健衛生の充実 32億6千1百万円（3億5千4百万円 増）

市民が生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせるよう、関係団体と連携しながら公衆衛生の確保に努めるとともに、市民が健康づくりや食育に取り組むことのできる体制を整えます。

【主な事業】

がん等検診業務 妊産婦・乳幼児健康診査業務 火葬場建設業務(14ページ) 市墓園整備業務(15ページ)
予防接種業務(16ページ)

(2) 地域医療の充実 44億6千9百万円（15億4千4百万円 増）

医療機関の機能分担を發揮し、適切で質の良い医療を身近で受けられるよう、地域医療体制の堅持とその周知を図るとともに、市民病院の安定運営に努めます。

【主な事業】

国民生活基礎調査・人口動態調査等実施業務 救急医療体制運営補助業務 地域医療体制の充実(18ページ)

(3) 地域福祉の推進 1億7千5百万円（5百万円 増）

全ての市民が地域社会を構成する一員として認めあい、市民、福祉事業者、行政などがそれぞれ協力しあって福祉活動に取り組む体制づくりと福祉環境の整備を進めます。

【主な事業】

民生委員児童委員協議会関連業務 社会福祉協議会運営費等補助業務 福祉関連法人健全化支援業務

(4) 障がい者福祉の充実 48億3千1百万円 (6億2千5百万円 増)

障がい者が地域社会の構成員として、生きがいをもって暮らしていくため、自立した生活と積極的な活動を支援し、ノーマライゼーションを推進します。

【主な事業】

障がい福祉サービス費等支給業務 福祉の村施設整備業務(17ページ) 心身障がい者福祉扶助料支給業務
障がい者地域生活支援業務

(5) 高齢者福祉の充実 202億2千3百万円 (12億6千6百万円 増)

高齢者が地域社会の構成員として自立して生きがいのある暮らしができるよう、社会活動への主体的な参加を促進します。

【主な事業】

【新】高齢者見守り支援業務(20ページ) 高齢者福祉施設等建設助成業務(21ページ) 地域福祉センター管理運営業務
介護サービス等給付業務 地域包括支援センター支援業務(22ページ)

(6) 児童福祉の充実 128億4千9百万円 (6千2百万円 減)

子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、地域の協力を得ながら子どもを育てる環境づくりに努めます。

【主な事業】

児童扶養手当支給業務 児童手当支給業務 放課後対策業務(23ページ) こどもの家施設整備業務(24ページ)
保育園園舎建替業務(25ページ) 私立保育園保育実施負担金業務

(7) 社会保障の充実 366億 9百万円 (4億2千万円 増)

市民が安心して生活できる社会保障として、生活保護制度、医療保険制度、年金保険制度に関する十分な情報提供と制度の長期的な安定と充実に努めます。

【主な事業】

子ども医療助成業務 後期高齢者医療費業務 後期高齢者医療広域連合負担金業務
国民健康保険一般被保険者療養給付費支払業務 【新】生活習慣病重症化予防業務(26ページ) 生活保護費支給業務

※ 太字の事業は、重点事項として記載のページに詳細を掲示
※ 【新】は新規事業

火葬場建設業務

保健部 保健総務課
総務班 (23-6182)

[予算額 13,978千円]

施設の老朽化や、超高齢社会の到来による火葬需要の増加に対応できる火葬場の建設を進めています。

平成 25 年度は、

- ・ 募集要項等の公表
- ・ 優先交渉権者の決定及び公表
- ・ 基本協定及び事業契約の締結

を実施します。

■事業スケジュール



市墓園整備業務

保健部 保健総務課
総務班 (23-6182)

[予算額 80,000千円]

継続的に墓地区画を提供するため、新たに区画を造成していきます。

岡崎墓園



整備済墓地区画数 11,610区画

残り空き区画数 80区画 (H25年1月現在)

(整備区画予定数)

773区画

岡崎墓園北側の緑地帯と駐車場を造成し、Aブロック414区画、Bブロック359区画を整備します。

予 防 接 種 業 務

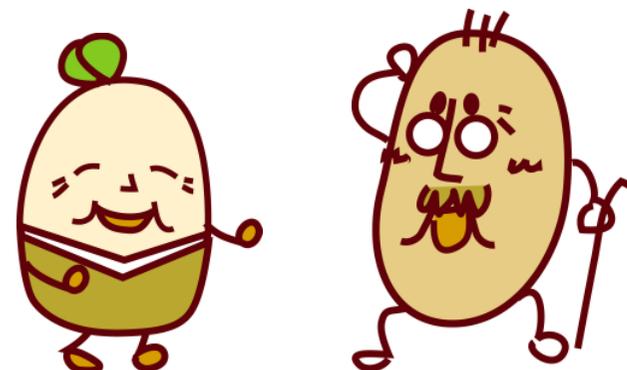
保健部 生活衛生課
感染症対策班 (23-6714)

[予算額 1,274,255千円]

新規事業

【高齢者肺炎球菌ワクチン接種】

75歳以上の方を対象に公費助成を開始します。



制度変更

【子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種】

定期予防接種化に伴い自己負担を廃止し、全額公費負担とします。

対象 子宮頸がんワクチン 中学1年～高校1年相当年齢の女子
ヒブワクチン 2か月～5歳未満
小児用肺炎球菌ワクチン 2か月～5歳未満



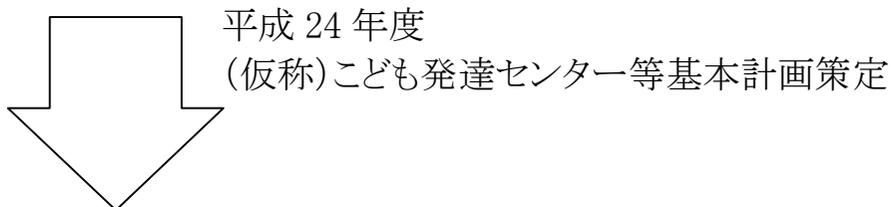
福祉の村施設整備業務

福祉部 障がい福祉課
企画整備班(23-6566)

[予算額 22,658千円]

福祉の村施設整備【第1期整備】

相談、医療及び療育機能を有する発達障がい児等支援施設「こども発達センター」と障がい児・者の交流の場である「友愛の家」の整備をPFI手法により進めます。



- 平成 25 年度は、こども発達センター・友愛の家整備に係る
- ① 地質調査
 - ② 実施方針の公表
 - ③ 特定事業の選定
 - ④ 募集要項等の作成
- } を実施します。



地域医療体制の充実

〔予算額 4,342,814千円〕(人件費を除く。)

病院事務局総務課
総務課 総務班 (66-7006)
用度班 (66-7017)
施設室管理班 (66-7004)

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院としての医療水準の確保及び、多様化高度化する患者ニーズに対応する機能の充実を図ります。病床不足の解消及び放射線治療に取り組むため、新棟を稼働します。また、1日平均100人以上の患者さんを受け入れている救外部門を拡張するため、救急棟の建設に取り組みます。

新棟の建設

〔予算額 3,416,841千円〕

増床とがん診療の充実を図るため、平成23年度から建設してきた新棟を完成させ、平成25年10月から新病棟(50床)を稼働します。放射線治療装置を導入し、平成26年2月からの治療開始を目指し、地域の中核病院としての使命を果たしていきます。

立体駐車場の建設

〔予算額 281,347千円〕

新棟・救急棟の建設により減少する駐車場を確保するため、立体駐車場(265台)を建設し、来院者の利便性の向上を図ります。

救急棟の建設

〔予算額 33,645千円〕

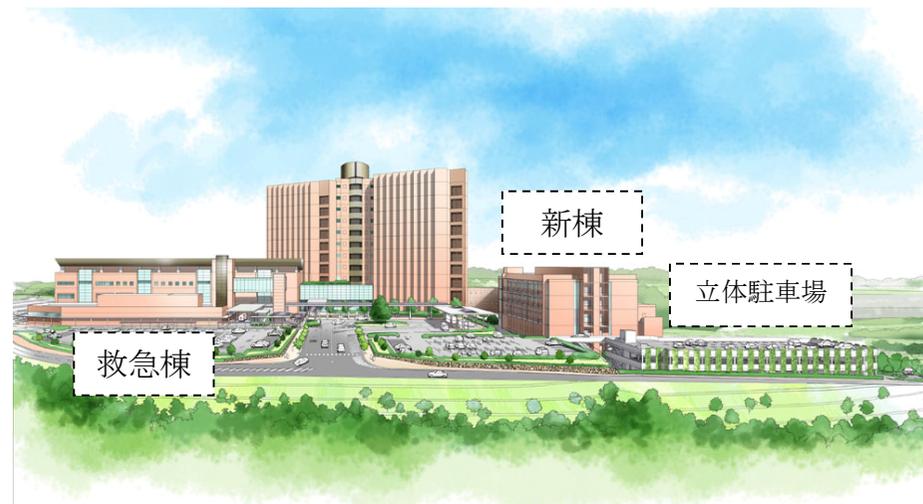
経過観察を含む緊急入院のための増床と救外部門を充実するため、平成27年度の稼働を目標に救急棟を建設します。平成25年度は、実施設計を行います。

医療機器の整備・充実

〔予算額 520,101千円〕

高度医療のさらなる向上のため、これらの機器を導入し、市民の健康を守るにふさわしい病院として、信頼に応えていきます。

- (1)検査用 乳房エックス線撮影装置 始め96品目
- (2)手術用 皮膚レーザー治療装置始め 17品目
- (3)その他 低温プラズマ滅菌装置 始め81品目



医療スタッフの確保と育成

[予算額 9,612,352 千円]

(人件費 9,521,472 千円、研究研修費 65,740 千円、修学資金貸与金 25,140 千円)

地域住民に高度な医療を提供するための最重要課題は、病院の経営基盤としての「医療スタッフの確保・育成」です。医師・看護師不足は全国的な問題となっていますが、労働環境等の改善と病院自体のステータス向上を図り、人材を確保するとともに、教育環境を整え、将来の地域医療を担う人材の育成に努めます。

人材の確保

- ・ 研修医の定員（1 学年 17 名）を確保し、研修修了後は正規職員として採用する。
- ・ 7 対 1 看護体制を維持するため、修学資金の有効活用等による看護師確保、離職防止に努める。
- ・ 新棟建設による業務拡大に対応するため、医師、看護師、薬剤師、放射線技師等を確保する。
- ・ 医師の負担軽減のため、事務作業を補助する医療秘書を確保する。
- ・ 看護師の負担を軽減し、本来の業務に専念できるよう、看護助手を確保する。
- ・ 看護師の 2 交代、薬剤師の 3 交代勤務を実施するなど、勤務環境の改善に努める。



人材の育成

- ・ 学会、研修会に積極的に参加できる環境を整え、積極的な参加を促し、スキルアップを図る。
- ・ 認定看護師等、当院として必要な資格取得を推進し、資格維持相当分の手当を支給する。
- ・ 専攻医などの若い医師を対象に、先進医療を学ぶため、他病院への院外研修を可能とする。
- ・ 看護師はクリニカルラダー研修により、能力に合わせてキャリア開発を行う。
- ・ 医療系書籍、雑誌（Web 版を含む）の充実を図り、最新医療情報を提供できる体制を整える。



新規事業

高齢者見守り支援業務

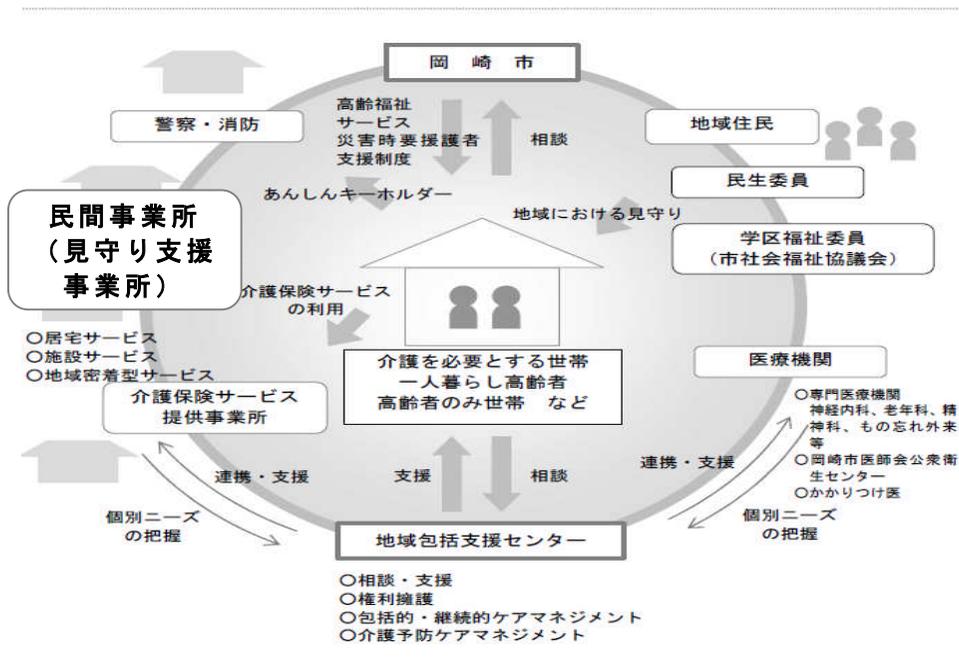
〔予算額 557千円〕

福祉部 長寿課
地域支援班 (23-6147)
予防班 (23-6837)
施策班 (23-6149)

民間業者が、業務活動を通じて高齢者の見守り等を実施することで、孤立死や虐待を防止するとともに、高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進します。

【見守り支援事業所】

①新聞配達所②郵便事業者③電気・水道・ガス提供所④牛乳・飲み物・配食事業所⑤開業医・開業歯科医・薬局⑥金融機関⑦食糧品店・日用雑貨店・コンビニエンスストア など



岡崎市高齢者見守り支援事業所

私たちは地域の皆様が安心して暮らせるように
見守り・協力しています。

発行 岡崎市役所長寿課 登録No.

高齢者福祉施設等建設助成業務

福祉部 介護サービス室
介護給付班 (23-6682)

[予算額 569,000千円]

【事業概要】

第5期老人福祉計画における施設整備計画に基づき、地域密着型特別養護老人ホーム等を整備する社会福祉法人に対して、建設費に係る経費の一部を助成します。

また、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対して、建設費に係る経費の一部を助成します。



【助成内容】

- 地域密着型特別養護老人ホーム
4,000,000円×29床(施設定員)×2事業所
- 小規模多機能型居宅介護事業所
30,000,000円×2事業所
- 特別養護老人ホーム
2,770,000円×100床(施設定員)



事業拡大

地域包括支援センター支援業務

福祉部 長寿課
地域支援班(23-6673)

[予算額 234,525千円]

[事業概要]

地域包括支援センターでは、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員の専門職が、地域の高齢者等の総合相談、権利擁護事業等の業務を適切に運営し、高齢者等が地域で安心したその人らしい暮らしを継続することができるよう支援をしています。

高齢者人口の増加に対応するため、現在市内に12か所ある地域包括支援センターを14か所(うち1か所を基幹型)に増設し、高齢者に対しより身近な支援を行います。

[増設箇所]

- ・井田・愛宕・広幡学区

担当地区高齢者人口 6,535人(平成24年9月末現在)

- ・大門・大樹寺学区

担当地区高齢者人口 4,576人(平成24年9月末現在)



事業拡大

放課後対策業務

[予算額 40,189千円]

こども部 こども育成課
こども育成班 (23-6330)

学区こどもの家を活用して、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動、地域の住民との交流活動等の取組を推進する「放課後子ども教室」の実施箇所を4館増やし、12館で実施します。

(新規に実施する学区こどもの家:細川・矢作南・六ツ美南部・六ツ美西部)

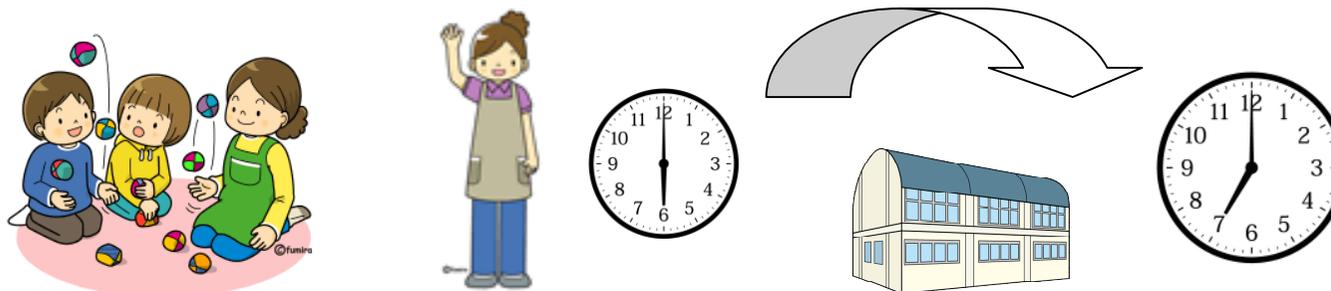


新たな取組

留守家庭児童への対応として、地域の実情に合わせて開館時間を延長します。

(閉館時間: 午後6時→午後7時)

(時間延長する学区こどもの家: 根石・常磐・細川・大樹寺・矢作南・六ツ美南部・六ツ美西部)



こどもの家施設整備業務

[予算額 8,140千円]

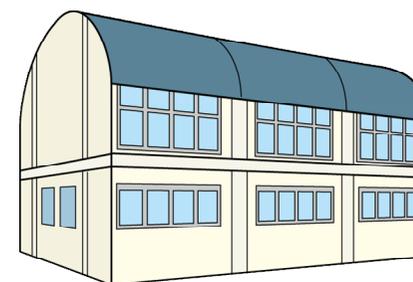
こども部 こども育成課
こども育成班 (23-6330)



根石学区と常磐学区のこどもの家を改修し、放課後や長期休暇の児童の居場所となる環境を充実します。

○児童が宿題や読書をして過ごしている造形図書室を広くします。

根石 : 31.36 m²⇒44.76 m² 常磐 : 27.72 m²⇒38.52 m²



保育園園舎建替業務

こども部 保育課
総務施設班 (23-6175)

[予算額 471,066千円]

【業務概要】

安全で快適な環境で保育を行うために、老朽化が著しい2園の整備を進めます。

平成24年度から園舎建替工事を実施している若松保育園（昭和47年建設）は、平成25年12月に開園予定です。また、百々保育園（昭和46年建設）の園舎建替に向け、実施設計、地質調査等を実施します。

○若松保育園

【計画概要】

平成22年度 実施設計、地質調査等
平成24年度 仮設園舎建設
平成24-25年度 園舎建替工事

【新園舎の概要】

敷地面積 3,312 m²
建物規模 鉄筋コンクリート造 地上2階建
延床面積 1,468 m²

○百々保育園

【計画概要】

平成25年度 実施設計、地質調査等
平成26年度 仮設園舎建設
平成26-27年度 園舎建替工事

【新園舎の概要】

敷地面積 2,505 m²
建物規模 鉄筋コンクリート造 地上2階建
延床面積 約1,500 m²

平成25年12月開園予定



(若松保育園イメージ)

新規事業

生活習慣病重症化予防業務

[予算額 8,103千円]

福祉部 国保年金課
管理班 (23-6275)

特定健康診査の結果を分析し、生活習慣病の未治療者に対して、医療機関への適切な受診を促すとともに、6か月にわたり保健師等が生活習慣の改善について継続支援することで、ご本人の生活の質の向上と高額な医療費の将来的な抑制を目指します。



保健師等による聞き取り・支援

- ・ 日常生活の振り返り
- ・ 医療機関受診の必要性
- ・ 生活習慣病の正しい知識

自ら生活習慣改善に努める

- ・ 食事内容を見直す
- ・ 基礎活動量を増やす
- ・ 医療機関受診

腹八分目！



10年後の健康のために！

